

## 次期学習指導要領とESD

2016年12月21日中央教育審議会答申

- 変化の激しい世界を生き抜く子どもたちに育てたい「生きる力」

「生きる力」を構成する3つの資質・能力

①教科等の枠組の中で育てる資質・能力

②全ての学習の基盤としての資質・能力

言語能力、情報活用能力、クリティカル・シンキング、問題発見・解決能力、体験から学び実践する力、多様な他者と協働する力、見通し振り返る力

③現代的な諸課題に対応できるように必要な力

## 次期学習指導要領とESD

2016年12月21日中央教育審議会答申

- 変化の激しい世界を生き抜く子どもたちに育てたい「生きる力」

「生きる力」を構成する3つの資質・能力

①教科等の枠組の中で育てる資質・能力

②全ての学習の基盤としての資質・能力

言語能力、情報活用能力、クリティカル・シンキング、問題発見・解決能力、体験から学び実践する力、多様な他者と協働する力、見通し振り返る力

③現代的な諸課題に対応できるように必要な力

➡ (ESDで育てる能力)

## 「生きる力」の資質・能力の整理

- 教科等で習得される資質・能力

- 言語能力

- ESDで育てる能力

・クリティカルシンキング  
・システムズシンキング  
・コミュニケーション力  
・長期的思考力  
・協働的行動力

## 究極的に育てたい見方・考え方

- 各教科において身に付けた、教科特有の「見方・考え方」

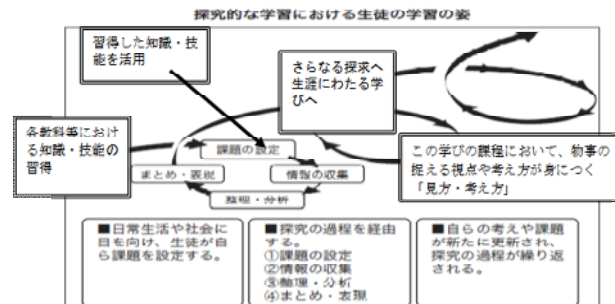
【例】

中学校社会科公民的領域では、「対立・合意、効率・公正」という社会を捉える「見方・考え方」を養います  
高等学校公民科では「幸福・正義・公正」という「見方・考え方」を養います。



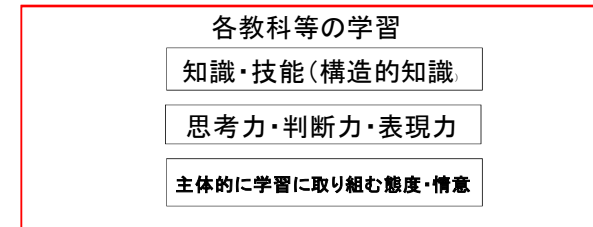
教科横断型の学習を行うことで、「見方・考え方」の融合とそれによる、多様で豊かな「見方・考え方」の育成

## 各教科における「見方・考え方」の育成プロセス



**習得・活用・探求の学びのプロセスを重視することで育てていく**

## 各教科における見方・考え方の獲得の重視



**各教科特有の「見方・考え方」の獲得（物事を捉える視点や考え方）**

## 教員に求められる 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業力

- ・「**主体的な学び**」  
見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学び
- ・「**対話的な学び**」  
子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えることを通じ、自己の考えを広げ深める学び
- ・「**深い学び**」  
習得・活用・探求という学びの過程の中で各教科等において習得した「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする学び

## 教員に求められる 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業力

- ・「**主体的な学び**」  
見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学び  
**主体的（アクティブ）であること**
- ・「**対話的な学び**」  
子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えることを通じ、自己の考えを広げ深める学び  
**対話があること**
- ・「**深い学び**」  
習得・活用・探求という学びの過程の中で各教科等において習得した「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする学び  
**見方・考え方が獲得できる**

## アクティブ・ラーニングについて

- アクティブ・ラーニングは型ではありません。生徒が主体的に学んでいることがポイントです。
- 主体的に学ぶために必要な「切実感」

生徒にとっての「切実感」・・・「受験等」  
ただしそれでは「生涯にわたり主体的に学ぶ姿勢の育成」にはつながらない。

生徒にとっての「切実感」・・・自分や自分が大切に思っているもの  
に関わる事象において生じるもの  
地域を教材化し、地域人材との出会い・協働や自分との関わりや、  
これからの自分の行動を考えさせるESDはアクティブ・ラーニング  
そのもの

## ここまでのまとめ

教科における「主体的・  
対話的で深い学び」の  
繰り返しによる教科特  
有の「見方・考え方」の  
獲得

教科における「主体的・  
対話的で深い学び」の  
繰り返しによる教科特  
有の「見方・考え方」の  
獲得

教科における「主体的・  
対話的で深い学び」の  
繰り返しによる教科特  
有の「見方・考え方」の  
獲得

教科横断型の授業実践による  
「見方・考え方」の融合



地域を教材化(切実感)したESDにより、さらに豊かで、  
長期的で、社会に関係のある「見方・考え方」の育成が  
できる

## ESDによるさらなる見方・考え方の ブラッシュ・アップ

ESDの視点(見方・考え方)

|      | 対象                    | 要素について | 作用について | 傾向について |
|------|-----------------------|--------|--------|--------|
| 実態概念 | 自然環境・<br>社会環境<br>人や集団 | 多様性    | 相互性    | 循環性    |
| 規範概念 | の行動や<br>意思決定          | 公平性    | 連携性    | 責任性    |

ESDで育てたい価値観

## まとめ

教科における「主体的・  
対話的で深い学び」の  
繰り返しによる教科特  
有の「見方・考え方」の  
獲得

教科における「主体的・  
対話的で深い学び」の  
繰り返しによる教科特  
有の「見方・考え方」の  
獲得

教科における「主体的・  
対話的で深い学び」の  
繰り返しによる教科特  
有の「見方・考え方」の  
獲得

地域を教材化したESD授業実践なら、生徒  
の「見方・考え方」はさらにブラッシュ・アップ



こういう教育課程を構築して、  
①「生きる力」を育てる  
②より多面的、長期的、社会に関わる「見方・考え方」